

学習発表会 大成功！

2月15日（土）、「にしきの子 きらり発表会」を開催しました。朝、体育館は冷え込んでいましたが、子どもたちの前向きな気持ちと、87名の観客の皆様のおかげで、ほんわかと温まったように感じました。



低学年は、錦町駅・産品ステーション・フードベースを訪問したこと、こんにゃくやわさび作りを体験したことについて発表をしました。小さい体をめいっぱい使って演技する児童を見て、ずっと頬が緩んでいました（完全に孫を見る爺様のようなでした）。あれだけの台詞をよく覚えたなあ、準備が大変だったんだろうなあと感じています。担任に聞いたところ、クイズなどの内容も、みんなで考えたとのこと。地域を元気づける、大変立派な発表でした。大きな花丸をあげたいです。



中学年は、福祉体験活動や募金活動を行ったことをもとにして、「福祉ってなあに？」という題で発表しました。チームに分かれ、それぞれが役割を担い、発表内容を考え、準備をしてきました。発表で使ったスライドも、ほとんど子どもたちが作成しています。まだ拙いところもありましたが、『自立の芽生え』としては十分であったと思います。福祉の大切さもよく伝わってきました。ふりかえりをしっかりとし、次学年への更なる成長へと繋げてほしいです。



高学年は、自然災害について調べ、もしこの場で起きたらどうするか？ということについて発表しました。あったことをそのまま伝えるだけでなく、『自分事として捉え考える』という所が高学年らしく、とても良かったです。発表も、写真をふんだんに活用したり、間にコントを取り入れたり、タブレットの枠を作り付けたりするなど、観客の視線や心情を考える余裕も見られ、さすがでした。

このように、それぞれの児童がそれぞれの発達段階に応じた活動に意欲的に取り組んだ結果が、今回の発表です。すべての児童に、「頑張った！よくできた！」と、自分を肯定してほしいです。

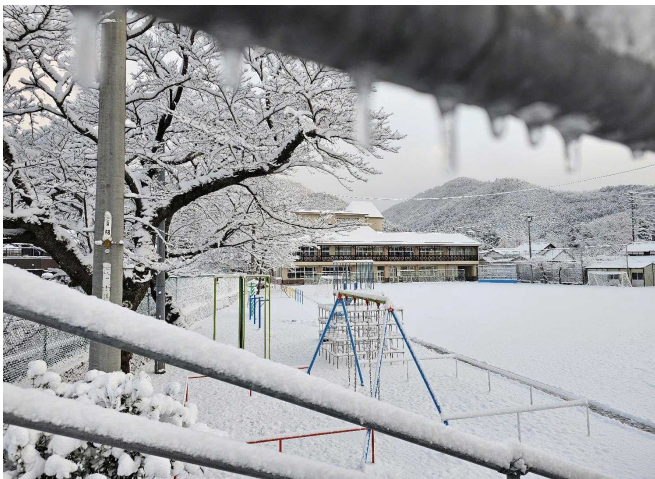


最後の全校合唱も気持ちが入っていて、歌声が心にしみました。

『Nishikiっ子 Spirit up』。大きな成長と成果が見られた、有意義な発表会でした。

発表の支援をいただいた皆様、寒い中来校していただき大きな拍手を贈っていただいた皆様、大変ありがとうございました。

雪・雪・そしてまた雪



地域住民と世間話をするとう「ようけ降りましたね～」という話に必ずなるほど、今年は雪が多かったですね。特に2月上旬の立春寒波は「襲来」という名にふさわしく、本校校庭にも約20cmの積雪がありました。ただ、子どもたちは大喜びです。かまくらを作ったり、雪合戦をしたり、寒さをものともせずに飛び跳ねていました。小さい体のどこにそんなエネルギーが詰まっているのだろう？と思うほどでした。このように気分が高揚していたせいか、寒さが続いた割には、インフルエンザや風邪が流行せずにすんでいます。今週も「余寒」が続くようですが、これまで同様、元気に登校してほしいです。

学校運営協議会を行いました

2月15日（土）、きらり発表会終了後に第4回学校運営協議会を行いました。今年度の学校運営について説明し、来年度の行事等についてご意見をいただきました。コミュニティ・スクール（「学校運営協議会」組織を設置している学校）は、地域と学校が共に維持・発展していくために、教育を通してまちづくり・ひとづくりに力を入れようとする流れから生じています。今の錦町に必要なことで、今後も力を入れていかなくてはならないことです。

R6年度の学校運営協議会委員の皆様、ご協力・ご支援をありがとうございました。

